

# 失樂園Ⅱ

女香の誘惑に  
濡れる美少年

— 成人向け —  
**R18**  
ADULT ONLY  
18歳未満  
購入・閲覧禁止



僕は  
修道士の  
ミハイル

何でもないです  
シスター



街外れの  
小さな教会で  
恩人である  
シスターと共に  
暮らしてきた

ある日  
教会に

3人の  
修道女が  
訪ねてきた

私達は



僕は  
気付かなかった

彼女達の正体が  
悪魔である  
という事が...

まさか  
そこまで  
見破られるなんて...

僕は  
気付かなかった

この小さな教会は  
僕とシスターの  
2人で  
回っていたので

正直すごく  
助かっている

毎晩毎晩  
この教会で

汗ばんだ  
女達の肢体が  
絡み合う

昨日より3倍  
気持ち良い  
うから...

頑張っ  
耐えて

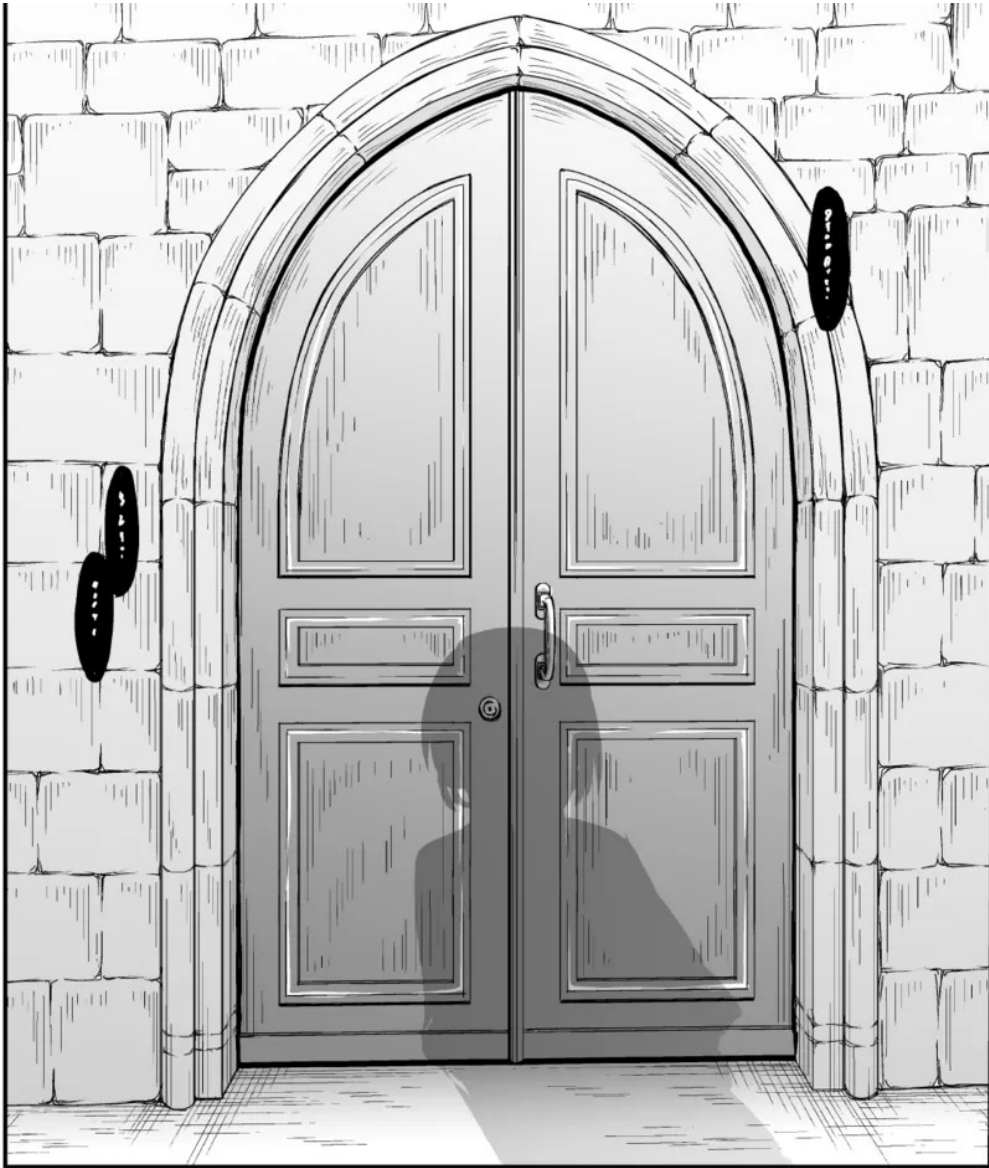
悪魔達による  
背徳の宴が  
行われていた事を...

この

扉の  
向こうで...

コッ

コッ



…シスター？

コッ...

中に  
おられますか？



…誰か  
居る？

何だ…  
この嫌な  
予感は…

この扉を  
開けては  
いけない  
気がする…



じっ…

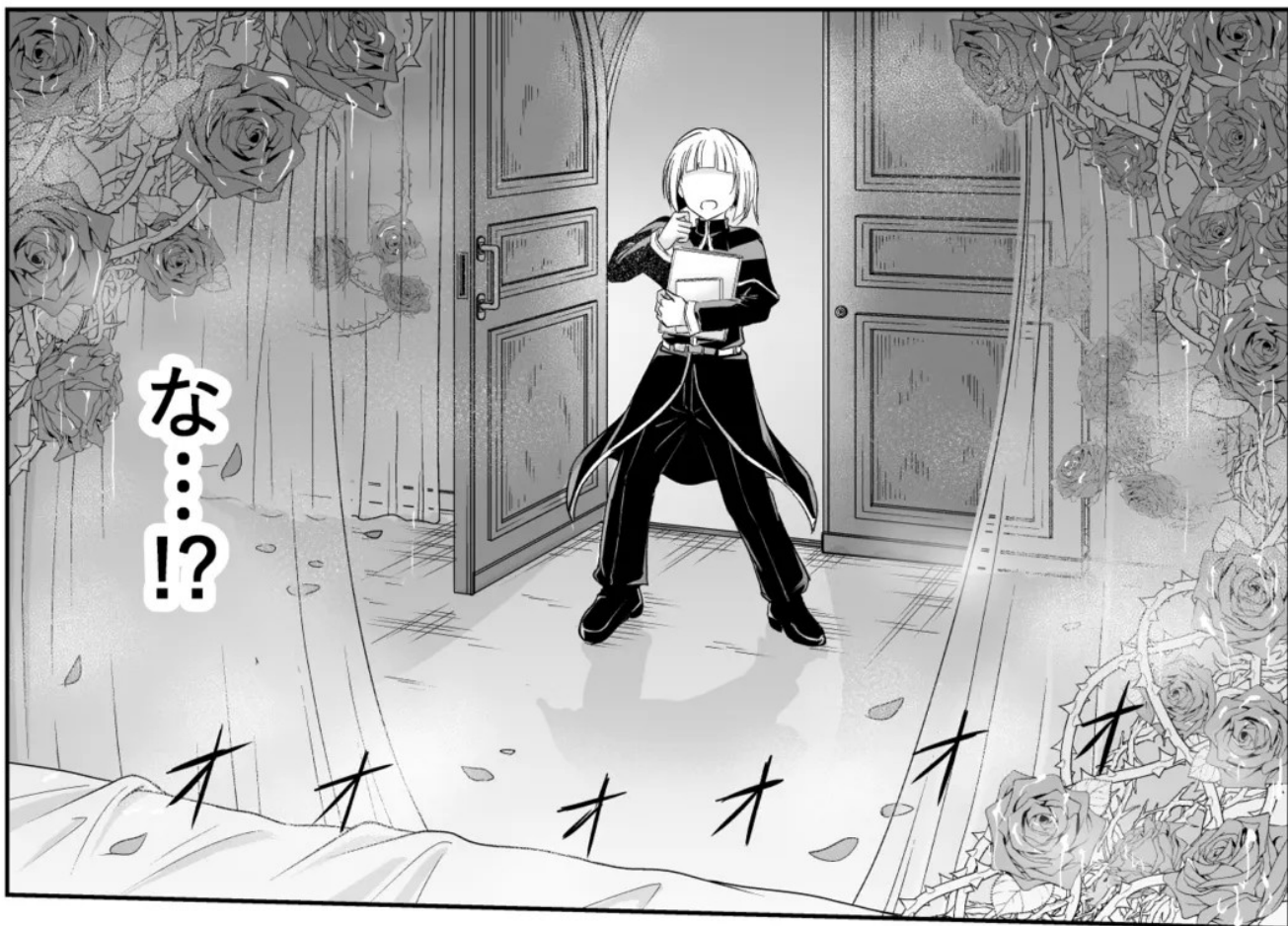


シスター…  
ベルフェの  
傷も癒えて

ここでは  
誰も寝ていない  
筈だけど…

何故だろう…  
足が竦む…

…いやいや…  
ただの地下室  
じゃないか…







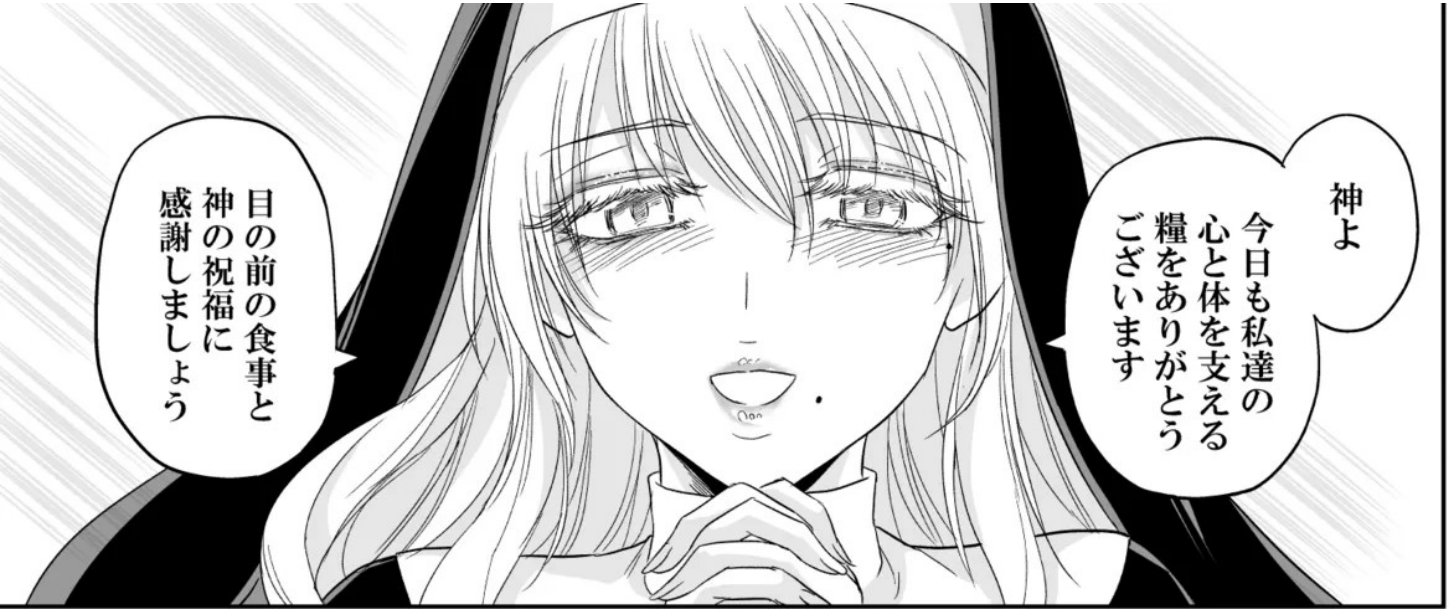
# 失樂園Ⅱ

〜女香の誘惑に  
濡れる美少年〜



敬愛する

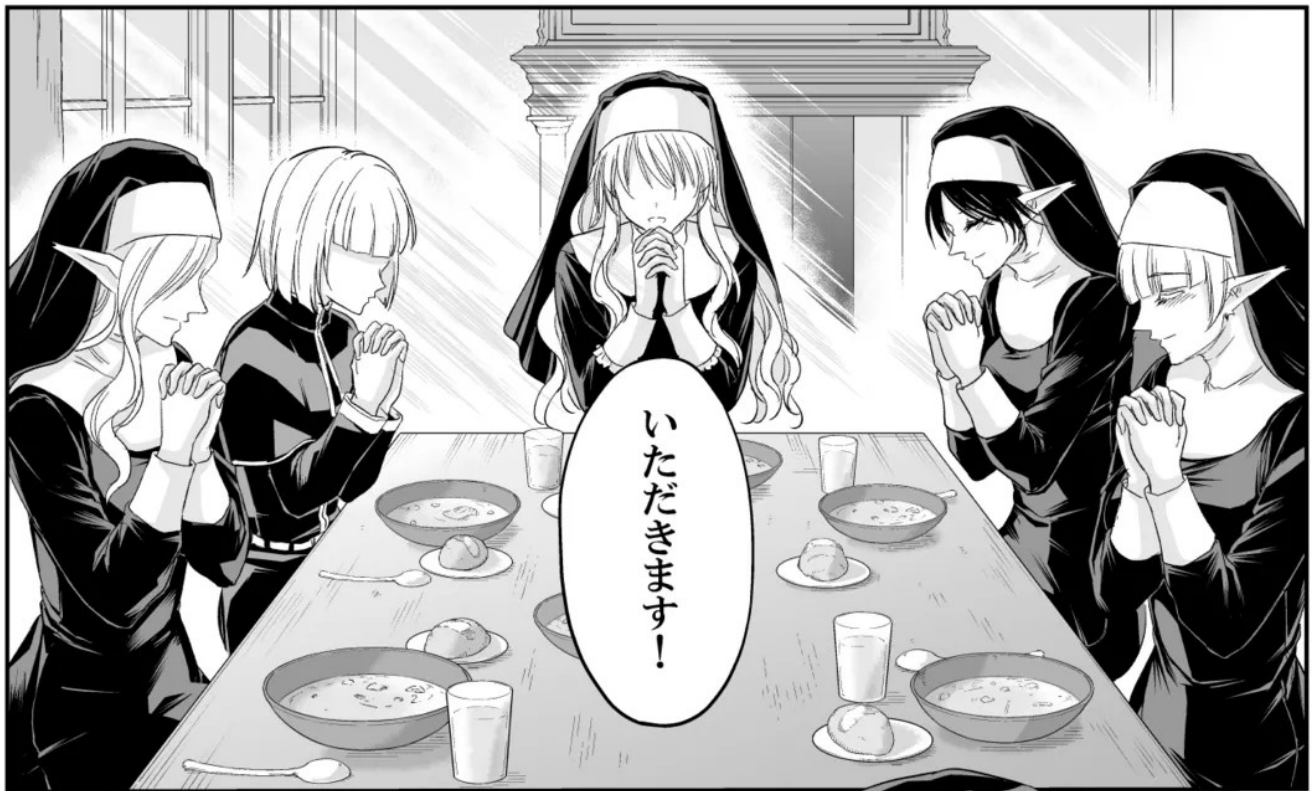
シスター・マリア・ハートウェルに捧ぐ。



神よ

今日も私達の  
心と体を支える  
糧をありがとうございます  
ございます

目の前の食事と  
神の祝福に  
感謝しましょう



いただきます!

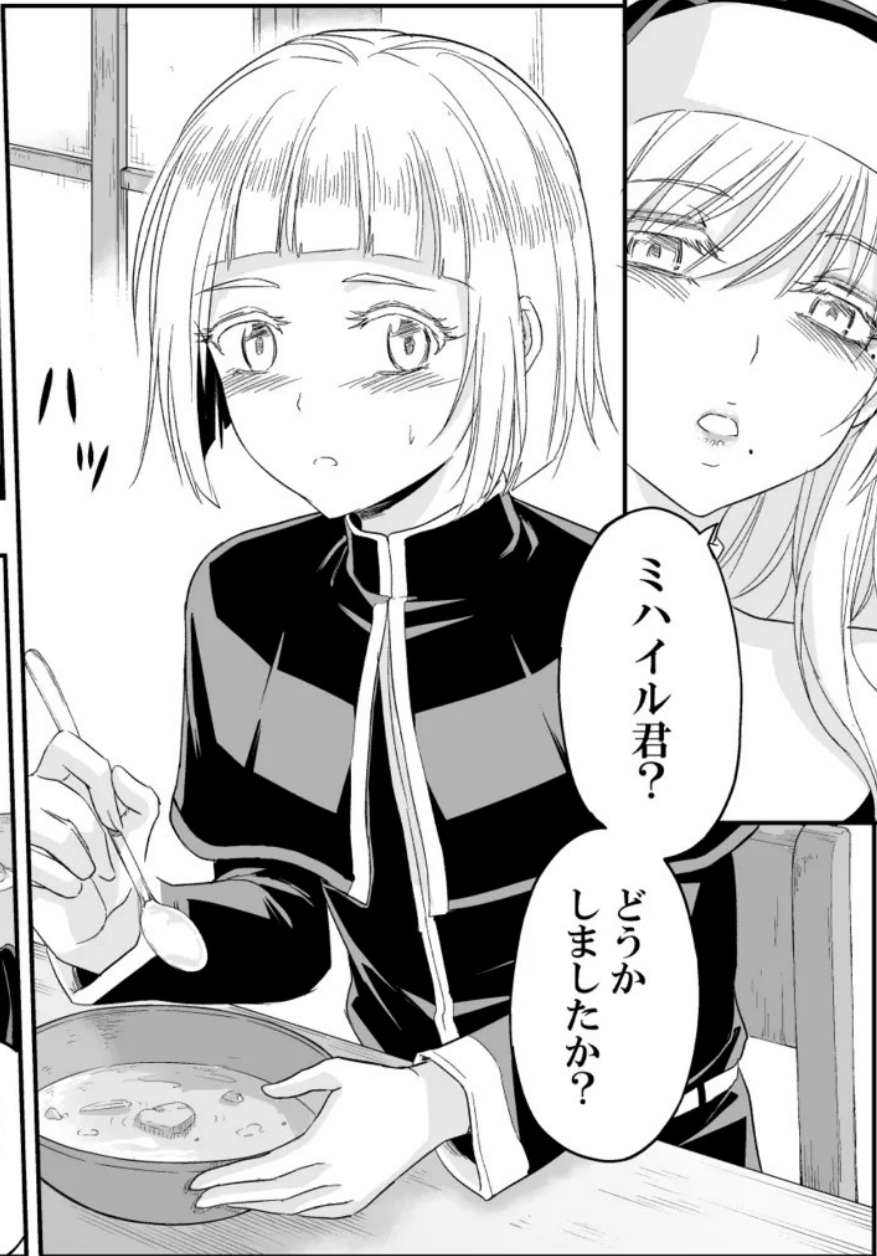


おいひい〜♡

大根が  
柔らかくて  
優しい味…♡

村の皆様が  
昨日の作業のお礼に  
作物を分けて  
下さいましたわ

シスター・  
セーデは本当に  
お料理が上手ね





シスター・  
セーデと  
カロリーリス…

2人は愛し合っ  
ているだろうか…

でも…  
教会の中で  
あのような事…

神はお許しに  
なるのだろうか…?



そうだ…

あの  
地下室だっ  
て  
あんな…



だけど…  
僕に見られて  
いたというのに…

2人は普段と  
まるで  
変わらない…

やっぱり  
あれは…

ただの僕の見  
た  
悪い夢だったの  
だろうか…?



ゴッ



ゴッ

ゴッ



キッ







ふふふ...



力持ち  
なのですね...  
修道士君...



なっ  
何を考えてるんだ  
僕はッ...!

ドクン

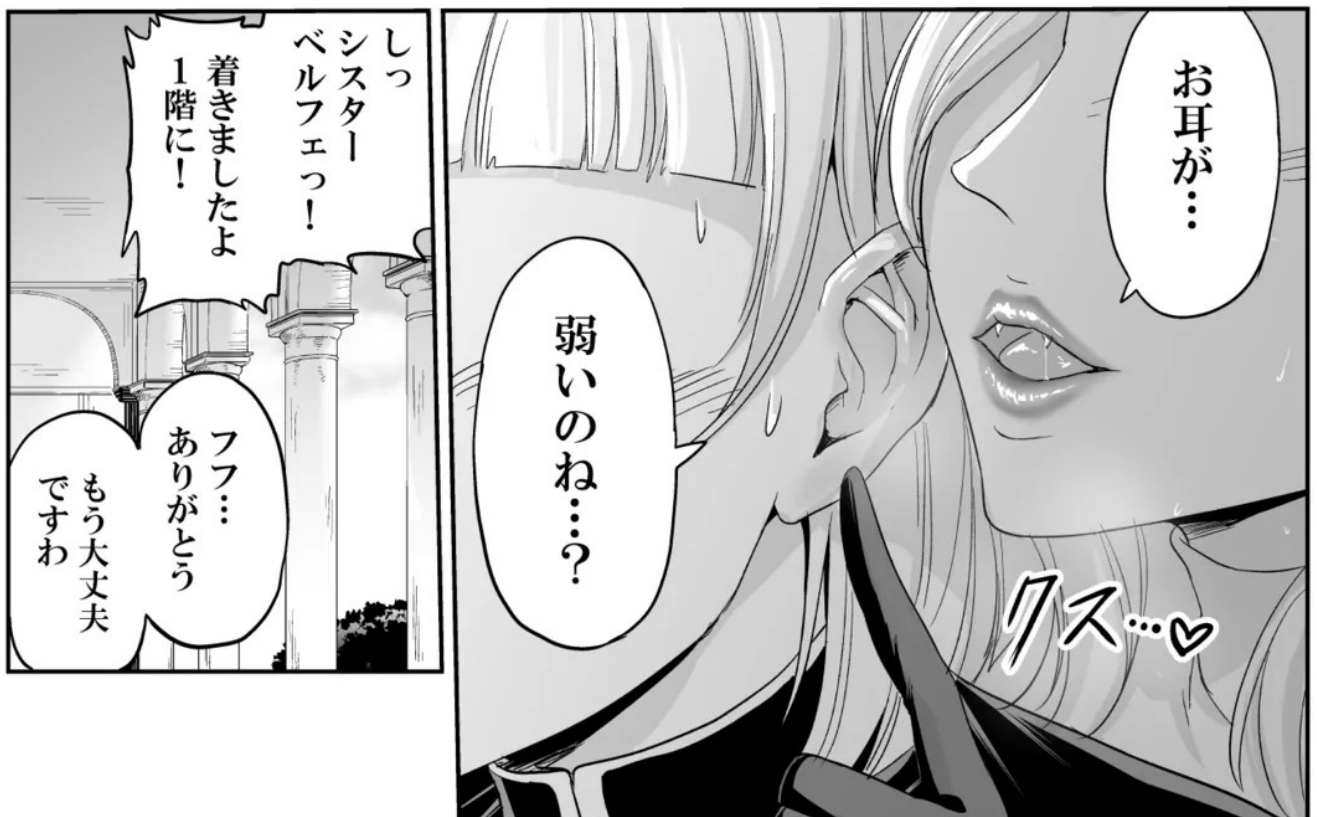
煩惱を捨て  
神の徒として  
生きると先程ッ...!

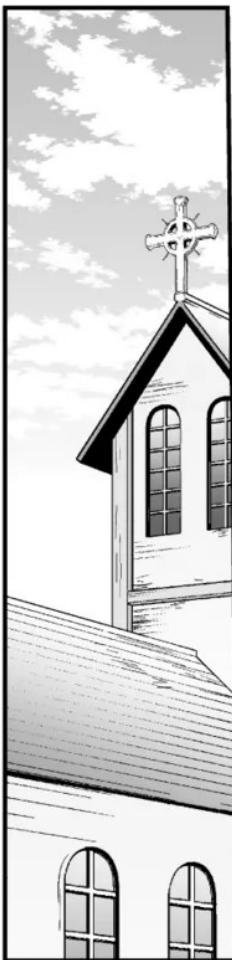
ううう...  
やっ...  
柔らかい...

薔薇のような  
甘い匂いが...

ドクン

ドクン







かっば

うっごっ♡

ここ  
私達の秘密の  
休憩場所!!



何をお手伝い  
しましょうか?



自分のサボりに  
修道士君を  
巻き込まないの

もう…  
カローリス  
ったら

朝から肉体労働して  
汗かいちゃったん  
だもん

だって



ちゃんと  
休まないと  
倒れちゃうよ

待ってっ…  
シスター  
カローリスっ…

ほら  
座って!  
修道士君  
働き過ぎっ!

ぎゅっ



あああ…  
なんでシスターの  
皆様はこんなに  
良い匂いがっ…

あのっ…  
僕仕事につ…

ふふふ…  
でも  
そうね…

修道士君は  
真面目過ぎ...

ギシ...

少しは...  
遊ぶことも  
覚えないとね...

ギリッ...

しっ...  
シスター  
セーデー...?

待って...

ふふふ...  
捕まえた...

逃げちゃ  
駄目...♥



やっ…  
柔らかくて  
温かい…

2人の肢体が  
両側からっ…

甘い薔薇の  
香りで  
いっぱいにつ…



こんな  
のっ…  
まるでっ…

あっあの…  
お2人は  
やっぱり…っ



昨日の…  
夜ッ…!!

昨日?  
何のことお…?

スリ…  
スル…  
そんな  
事より…

私達…  
シスター…  
ベルフェから  
聞いたんだあ…



修道士君…  
お耳が  
弱いよね…?

えっ…  
試してみて  
いい…?



ふわっ

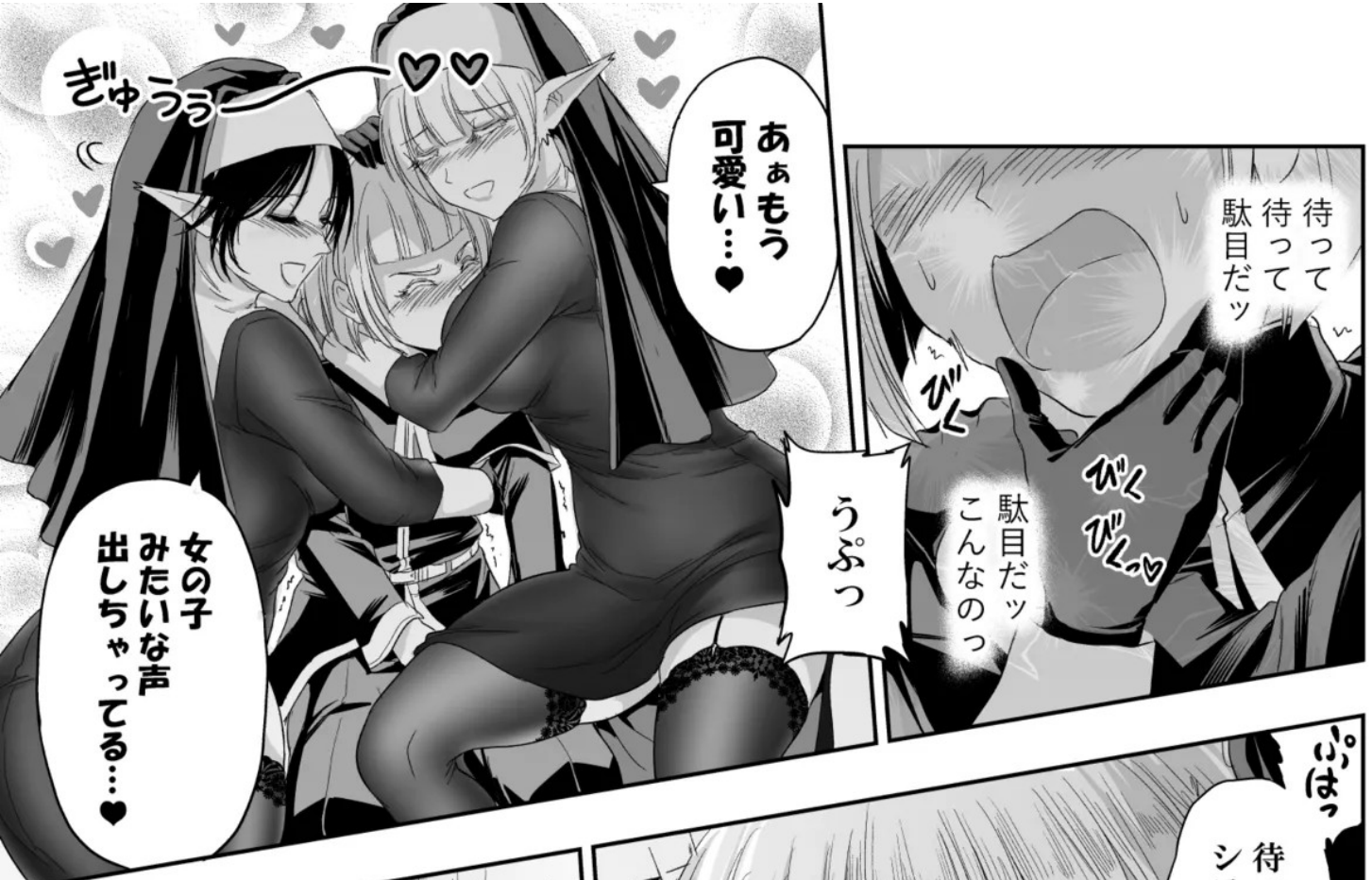
♡♡

ひゃあっ  
あっ  
あっ  
あっ...

♡

ぞく

ぞく



ぎゅー

あぁもう  
可愛い…♡



待って  
待って  
駄目だッ

駄目だッ  
こんなのッ

うぶッ

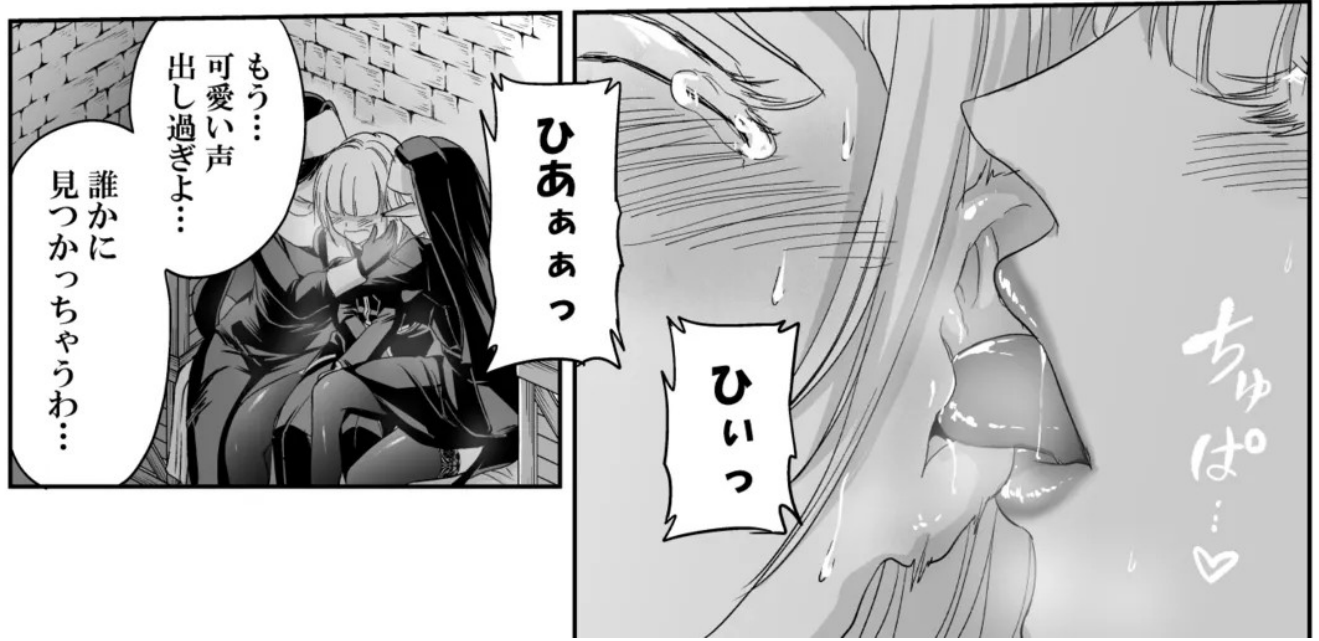
女の子  
みたいな声  
出しちゃってる…♡



待ってっ  
シスターっ…

僕っおっ  
おかしく  
なっちゃうっ…

ひゃああッ



もう…  
可愛い声  
出し過ぎよ…

誰かに  
見つかっちゃうわ…

ひゃああッ

ひいッ

ちゅぽ…♡



お口...  
塞いであげる...

ス...



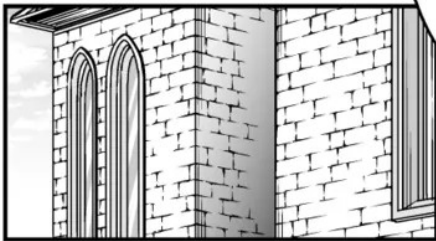
コッ  
コッ

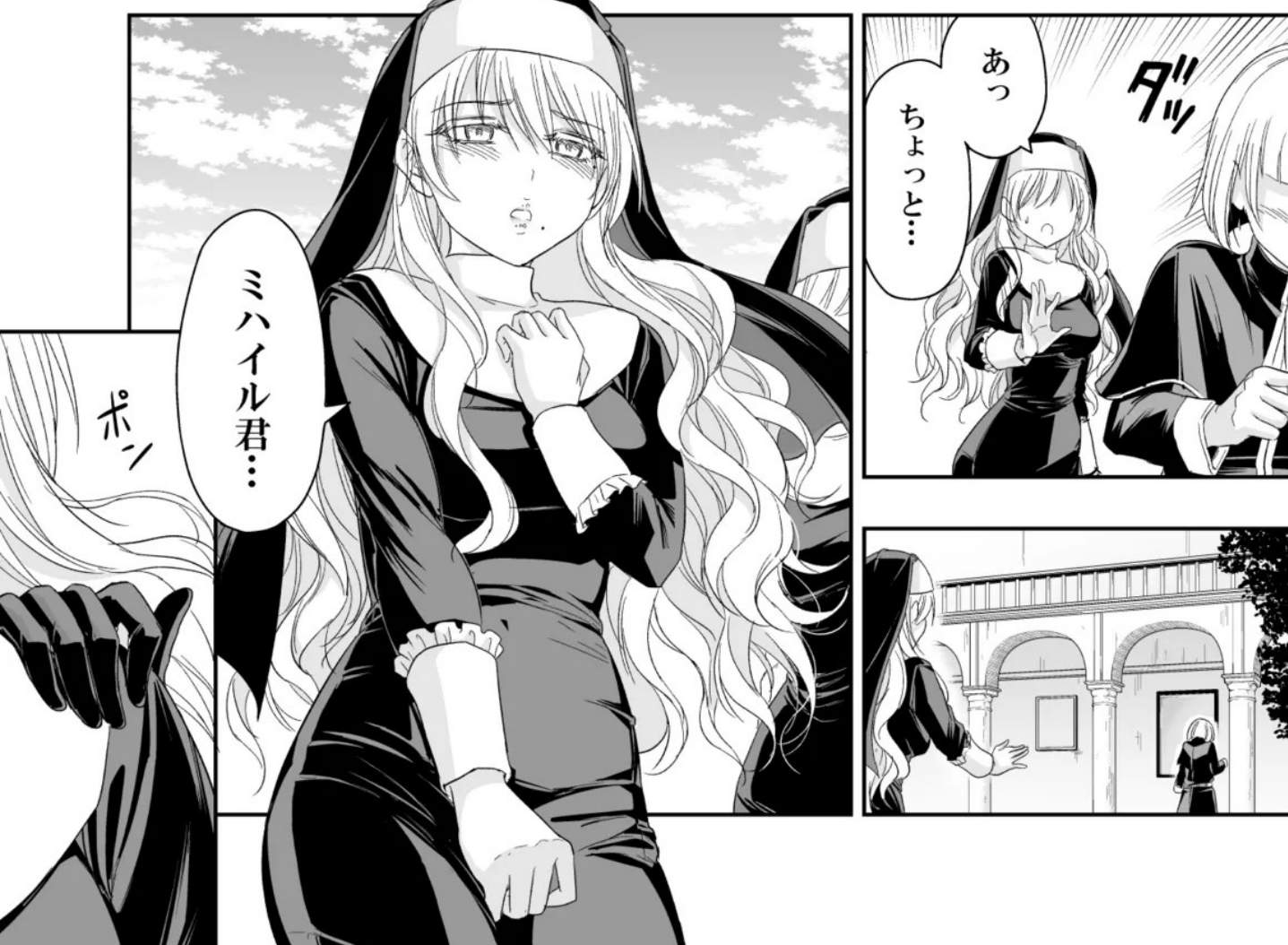


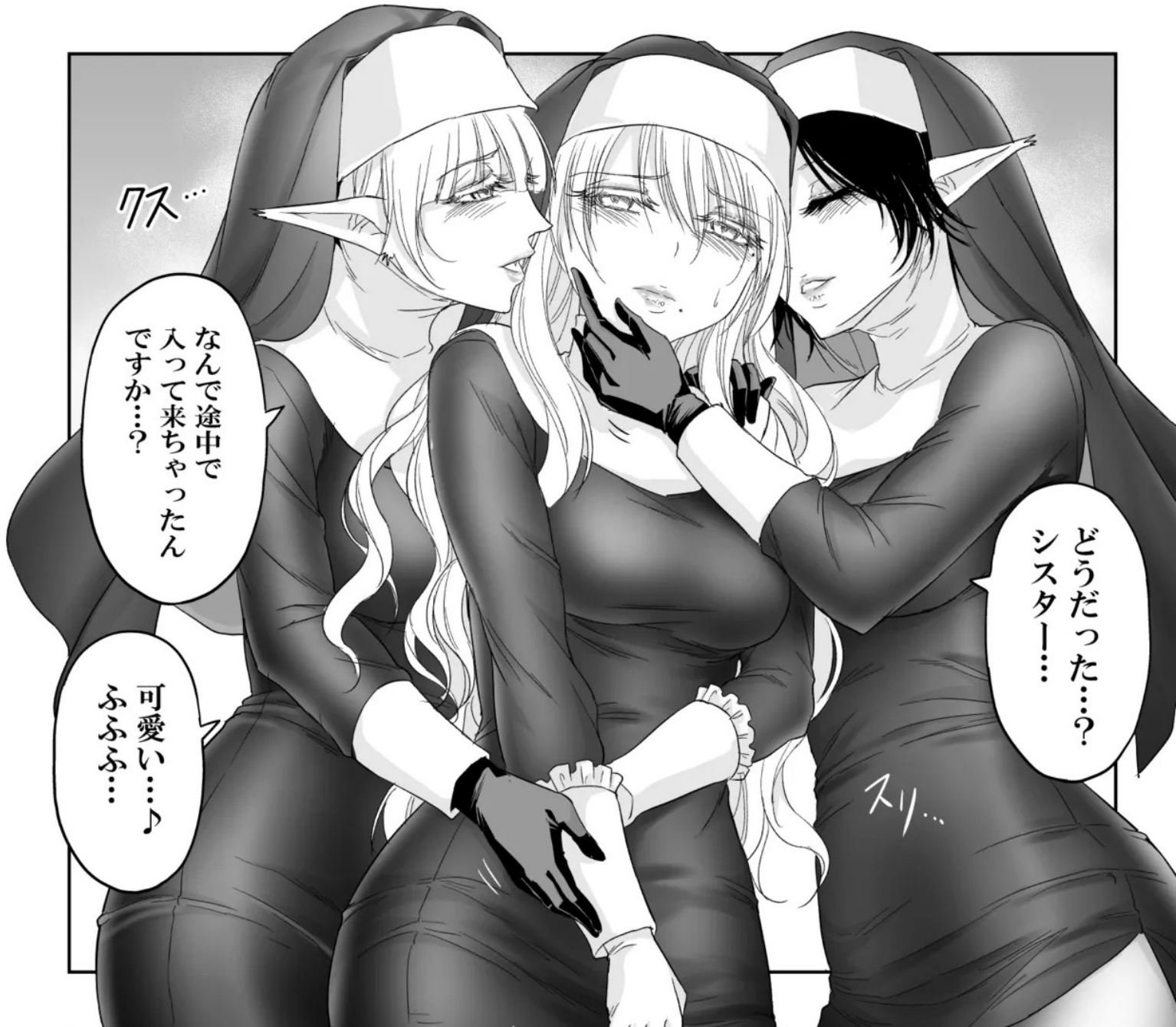
誰か  
いるのですか?

...あら...

ザッ  
ザッ







クス...

なんで途中で  
入って来ちゃったん  
ですか...?

可愛い...♪  
ふふふ...

どうだった...?  
シスター...

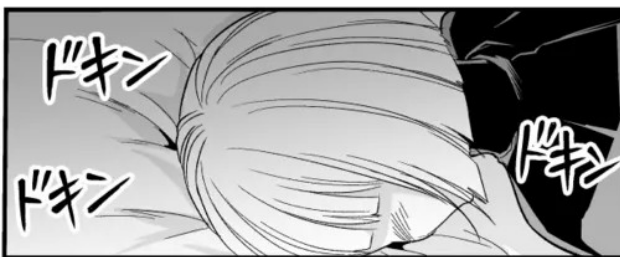
スリ...



僕は...  
何をして  
いるんだ...



ドサ...



ドキン  
ドキン

ドキン



バタン...



神の徒として  
生きると  
誓ったのに…

シスター達の  
身体に…  
吐息に…

甘い香りに  
惑わされて…



眠ろう…

今日の事は…  
もう全部  
忘れるんだ…



ミハイル君…

聖職者の身で  
ありながら…

女性に不埒な  
感情を抱いているとは  
本当ですか…？



ちっ  
違いますっ!!

シスター  
僕はっ…



修道士君…

違わない  
でしょう？

ギクッ…





ああっ…

これから  
夜明けまで  
ずっと…



憧れの  
シスターが  
見ている前で…

快樂の地獄に耐え  
続けられるわよね…？

スリ…♡

やっ…  
やめて…  
うわああ  
ああ…





駄目よ  
ミハイル君…

我慢して…♡

くちゅ…♡



どうですか…？  
憧れのシスターの  
あんな姿…

ドキドキ…  
しちゃった…？

もう…  
駄目じゃない…

ドクン

ドクン



違うッ…

僕は…  
こんなッ…

ぎゅ…

ふふふ…  
あんなシスターを  
見ていたら…

邪な欲望に  
負けちゃうわね…



大丈夫よ…

ぎし…

フ…♡

ふわ…

ぎゅ…♡

今何も  
見えなくして  
あげるから…

!!

おちい♡

薔薇の甘い  
香りに包まれて…

視覚も嗅覚も  
私達に奪われて…

ただ  
気持ち良さだけで  
頭を一杯にして…？

スリ♡

おきん♡

!!

!!



きゅん♡

うん♡

ああん…

ん…  
ん…  
ん…

もう…  
そんなに  
暴れないで…

む…  
ん…  
ん…

ん…  
ん…♡

かや かや



むち…♡

おしぎゅ…♡

興奮して  
きちやう…

ん…  
ん…

ぬち…♡

ん…  
ん…  
ん…

あら…？

ん…  
ん…

ぬち…♡



憧れのシスターが  
見ている前で…

ちゅ…♡

ちゅ…♡

ちゅ…♡

神に仕える  
身である  
貴方が…



どうして  
大きくなって  
いるの…？

ズル…



…!!



女の身体に  
挟まれて…

薔薇の香りに  
包まれて…

ちゅ…♡

こんなに欲望を  
溜め込んで  
しまったの…？

うっ…

はっ  
はっ



むーっ

ぬち...♡

んむっ...

駄目  
じゃない...

ちゃんと我慢  
しなくちゃ...

ぬち...♡



ズッ!

んむっ!

クス

クス♡

クス

クス

ぬち...

ズッ!

ぬち...

んむっ!



れろお...♡

はあ...♡

んんっ

ひん

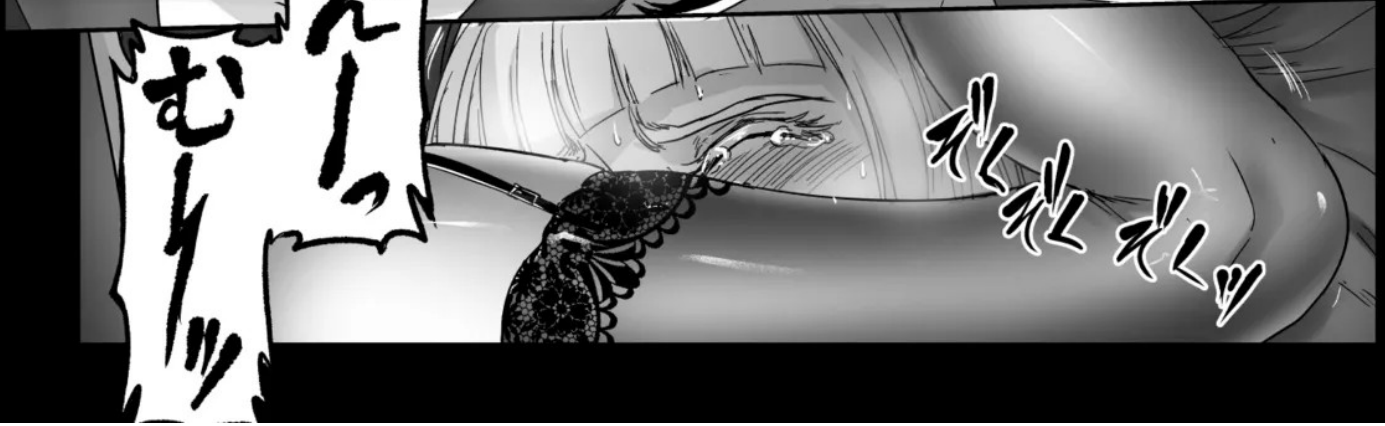


れろ...

んんっ...

ぬちゅ...

にゆる...



んんっ  
むん

んんんんん







ミハイル君...

我慢して...

下さいね...?

ぬちゅ...♡

しゅ...♡



待ってっ  
シスターっ

あぁあぁあつ

はちゅちゅ...♡

ちゅ...♡

しゅ...♡

ぬちゅ...♡

すっ



んんん

んんん

んんん

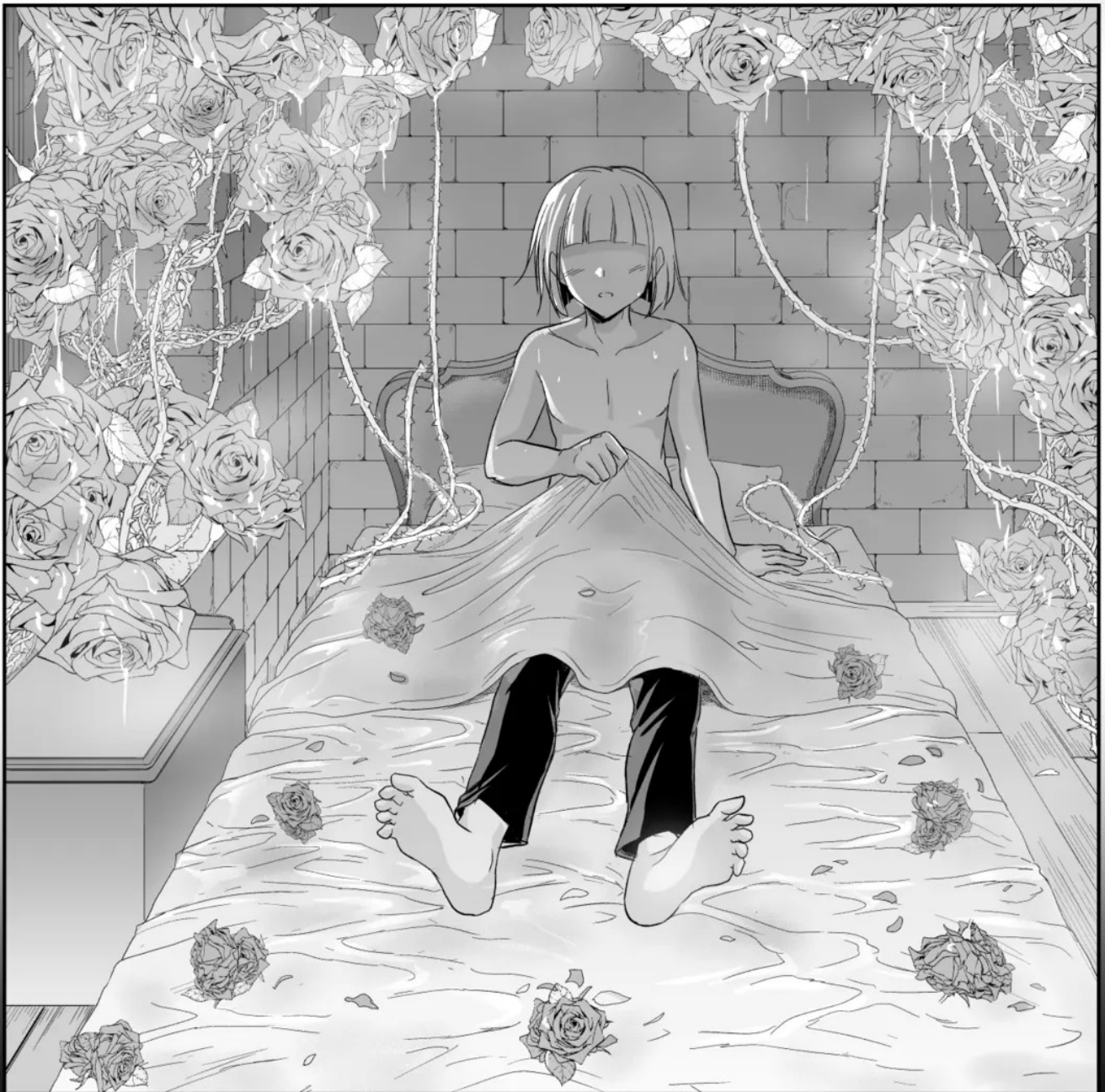
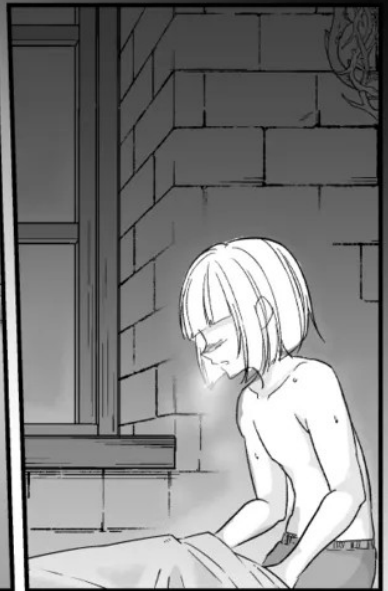
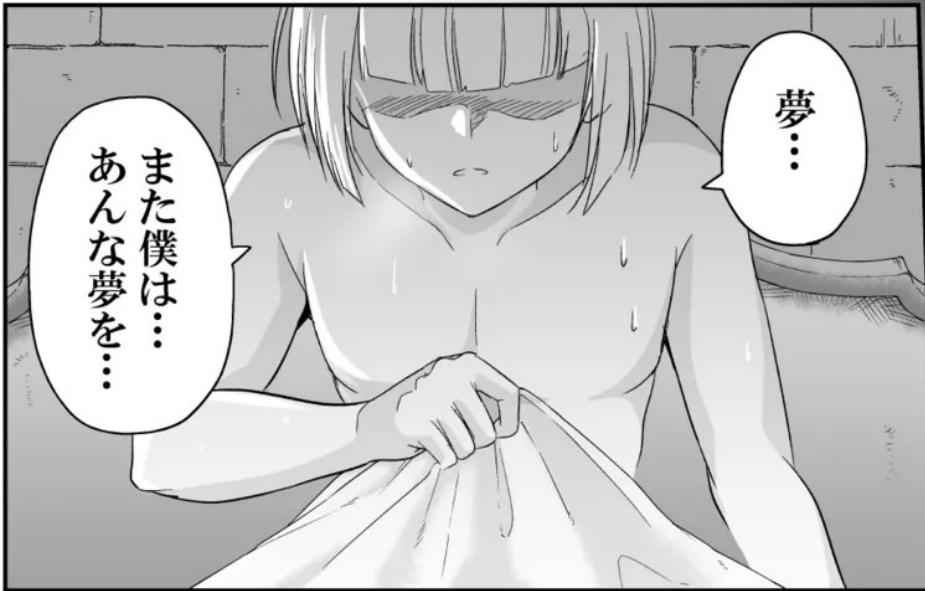
すちゅ...

んんん

んんん

んんん

んんん





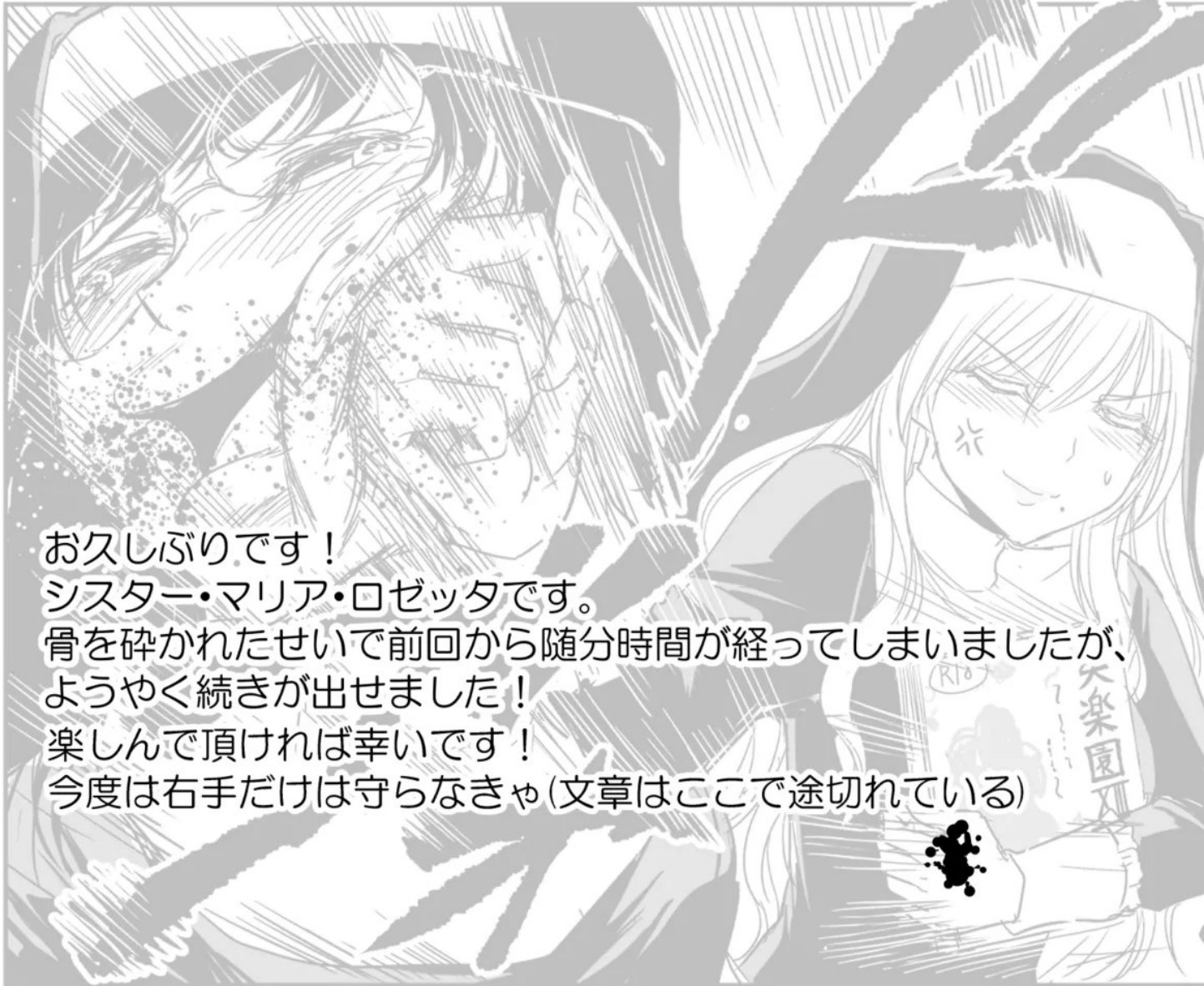
温かく  
濡れたシート…

部屋中に満ちた  
湿った薔薇の  
匂い…

僕には  
もう…

夢と現実の  
境目も  
分からなかった…

つづく…



お久しぶりです！  
シスター・マリア・ロゼッタです。  
骨を砕かれたせいで前回から随分時間が経ってしまいましたが、  
ようやく続きが出せました！  
楽しんで頂ければ幸いです！  
今度は右手だけは守らなきゃ(文章はここで途切れている)

## ■奥付

発行日：2025年8月16日

発行：パレス犬吠崎

発行者：シスター・マリア・ロゼッタ

作者 X (Twitter) ID : man\_Arihred

作者Mail ; okudahendarson@gmail.com

作者pixivID : 468068

Special thanks : シスター・マリア・ハートウェルと  
教会の皆様



本作品は、山本アリフレッド著  
「力技のシスター」の公式スピンオフ作品です。  
力技のシスターシリーズは  
山本アリフレッドのX (twitter) 等で更新しております。  
商業単行本も発売中です！

また、本作品「失樂園」シリーズの続きは  
山本アリフレッドのpixivFANBOXにて一部更新中です。  
気になる方はチェックしてください！